

2026年8月16日（日）主日朝礼拝説教

『罪の赦しと病の癒し』 井上隆晶牧師

詩篇 53 篇 1～5 節、ルカによる福音書 5 章 17～26 節

①【信仰とはキリストを求め続ける行動であること】

イエス様がある家におられることが分かったと、大勢の人が集まってきて、戸口の辺りまですきまもないほどになりました。イエス様がお話をなさり、病気を癒しておられると、男の人たちが中風の人を床に乗せて運んで来ました。しかし群衆に阻まれて中に運び込むことができなかったのも、屋根に上って瓦をはがして穴をあけ、病人を床ごとつり降ろしました。イエス様はその人たちの信仰を見て「**人よ、あなたの罪は赦された**」（ルカ 5：20）といわれました。他の病人には言われないで、なぜこの人にだけ「**あなたの罪は赦された**」と言われたのでしょうか。ヒントは「**イエスはその人たちの信仰を見て**」という言葉にあると思います。信仰を見てとありますが、彼らは何もしゃべっていません。イエス様が見ておられたのは、彼らの行動でした。何としてでもイエス様に近づこうとする行動、他の者には見られない常識を超えた行動でした。イエス様以外には癒せないと思ったのでしょうか。ここから分かるのは、信仰とはイエス様を必死に求める行動なのです。いくら口で信じますといっても、行動がなければ信仰とは言えません。「行いが伴わないなら、信仰はそれだけでは死んだものです。」（ヤコブ 2：17）

聖書の中には必死にイエス様を求めた人たちが出て来ます。カナンの人の子は「**ダビデの子よ、私を憐れんでください**」と叫びながらついて来ました。盲人バルテマイも叱られてでも叫び続けました。出血の止まらない女の人命がけでイエス様の衣に触れました。盲人は「**行きなさい。あなたの信仰があなたを救った**。」（マルコ 10：52）と言われ、婦人は「**娘よ、元気になりなさい。あなたの信仰があなたを救った**。」（マタイ 9：22）と言われました。その必死な行動ゆえに「救われた」と言われたのです。

●私は長野県伊那市生まれで、田舎者です。家の周りは田んぼか畑です。小学校の帰り道、友達と畑の中のあぜ道を歩いていたら、緑色の奇麗に磨かれた石がその頭をのぞかせていました。砥石かと思って拾ったら縄文時代の磨製石斧でした。それ以来、私は考古学のとりこになりました。土の中に眠っている宝物を掘り当てることが楽しみになりました。

それと同じように、イエス様は福音書の中に、教会の伝統の中に隠れておられます。聖書・祈祷書は宝の隠された畑のようなものです。あきらめないで深く掘り起こす者、捜し求める者、何度も主の名を呼び求める者は、キリストという宝を見つけるでしょう。神様は人間にそのような努力をすることを求めておられます。神様は隠れておられ、人間に捜してもらいたいのです。神が隠れるのは、本当に

自分を必要とする者を見つけるためなのです。「求めなさい、そうすれば与えられる。探しなさい。そうすれば見つかる。」(マタイ 7:7)、「わたしの顔を尋ね求めよ」(詩編 28:8) と言われています。

②【罪の赦しと病の癒し】

この中風の方は、病気を癒してもらうためにやってきました。それなのにイエス様は病気の癒しではなく、罪の赦しを宣言なさいました。なぜでしょうか。教会はこの順序を重んじます。病いの癒しよりも、罪の赦しの方が重要だからです。多くの人は教会に「癒し」を求めてやって来ます。しかし教会が提供するの「救い」なのです。癒しと救いは違います。癒しはこの世的なものであり、一時的なものです。いくら病気が癒されても、再び別の病気になり、最後は癒されずに死にます。癒しには限界があるのです。しかし救いは永遠のものです。罪が神から離れることなら、救いとは神に帰ることです。神と共に生きようにならなければ、いくら肉体の病が癒されても、彼の魂は死んでいるのです。しかし、神と共に生きる人は、たとえ肉体の病が癒されなくても、永遠に死なないのです。イエス様が望まれるのは癒しではなく救いなのです。「主が近くにいてくだされば、人々は生き続けます。」(イザヤ 38:16)

③【病人の癒しは人類の復活のしるしであること】

イエス様が罪を赦す宣言をされたのを聞いて、そこにいた律法学者たちは「神を冒瀆するこの男は何者だ。ただ神のほか、いったい誰が、罪を赦すことができるだろうか。」(ルカ 5:22) と思いました。そこでイエス様は彼らの思いを知って『あなたの罪は赦された』と言うのと、『起きて歩け』と言うのと、どちらが易しいか。人の子が地上で罪を赦す権威を持っていることを知らせよう。」と言われました。病気を癒すことは簡単ですが、罪を赦すこと、つまり神との関係が回復し、信仰者が生まれることはものすごく難しいのです。イエス様に重い皮膚病を癒してもらった 10 人の内、信仰するために戻ってきたのはたった一人でした。カルト宗教から脱会しても、10 人の内一人しか信者になりませんでした。いくら病気が癒されても人は神を信じません。奇跡では信仰者は生まれないのです。しかしイエス様は、自分が罪を赦す権威を持つ者、つまり神であることを教えるために、ここで病人を癒し、信仰者を創造されたのです。中風の方に「起き上がり、床を担いで家に帰りなさい」と言われると、病人は立ち上がり、寝台を取り上げ、神を賛美しながら家に帰ってゆきました。

「人々は皆大変驚き、神を賛美し始めた。そして恐れに打たれて『今日、驚くべきことを見た』と言った」(ルカ 5:26) とあります。人々が恐れに打たれたのは、病気が癒されたからではありません。今まで多くの病人が癒されてきたのを人々は見てきたからです。そうではなく、神の現われ、すなわち神の栄光を見たから

です。神が地上に現れ、人の罪を赦し、死から命に回復させられるのを見た、ということでしょう。天が、神が自分たちの近くにおられたということに対する恐れとでも言いましょうか。そういう驚きであり、賛美なのです。

この病人の癒しは、人類の復活のイメージとして行われました。「起きる (Get up)」という言葉は「復活する」という言葉と同じです。この病人にイエス様が「**起きて歩け**」と命じられたことは、「**復活して歩け**」と言われたのと同じなのです。イエス様は、この男を霊的な意味で復活させたのです。これは何も驚くことではありません。パウロも「**あなたがたはキリストと共に復活させられたのですから、上にあるものを求めなさい。**」(コロサイ 3:1) と言っています。復活はキリストと一体になった時から、この世から始まるからです。洗礼式の時、私は牧師として「あなたの罪は赦されました」と宣言します。しかし罪が赦された証拠はどこにあるのでしょうか。それはキリストが復活したという事なのです。復活だけが唯一のしるしなのです。聖書にも「**預言者ヨナのしるしのほかには、しるしは与えられない。つまり、ヨナが三日三晩、大魚の腹の中にいたように、人の子も三日三晩、大地の中にいることになる。**」(マタイ 12:39~40) と書かれています。なぜ復活が、罪が赦されたことの証拠になるのでしょうか。聖書では罪があるところに死があると考えます。罪と死とは一体だからです。これを逆に考えれば、死がないところには罪もないことになります。キリストはあなたと一体になり、あなたの罪を負って一度死にましたが、復活しました。だからあなたの罪はもう除かれたのです。

●日本基督教団が運営する「信愛荘」に、土合竹次郎（どあい・たけじろう）という牧師さんがいました。彼はよく「愉快だ」という言葉を使われました。こんなことを言っています。「歳をとらないと分らない真理がある。最近になって確信をもったことがある。天国は行く所ではなく、来るものである。主イエスも、『御国が来ますように』と祈れと教えておられる。…死は永久の眠りの永眠ではなく、やがてキリストによって復活するまでのひとときの眠りにつく就眠である。」と言っています。

キリストはあなたと一体になるためにこの世に来たのです。キリスト自身が天国です。あなたが天に昇るのではなく、天国の方からあなたの所に来てくれたのです。あなたを死なない者にするためです。だから大いに喜びましょう。キリストが復活して、あなたの罪は取り除かれました。キリストが復活して、あなたの死は終わりました。キリストが復活して、愛と命があなたを支配しているのです。死の終わりを祝い、命の始まりを喜びましょう。